



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために
RI会長 シェカール・メータ

2021-2022年



Rotary District 2640 Japan

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

海南東ロータリークラブ

会長 魚谷 幸司 幹事 宇恵 久視 SAA 楠部 均

第 2072 回例会

2021年10月11日(月)

海南商工会議所 4F 19:00~

ゲスト卓話

「和歌山県 IR 事業の今後の展開」

1. 開会点鐘

2. ロータリーソング

「我らの生業」

3. ゲスト紹介

和歌山県 IR 担当理事 田嶋 久嗣 様

4. 出席報告

会員総数 41 名 出席者数 23 名

出席義務規定適用免除会員 1 名

出席率 58.97% 前回修正出席率 66.67%

5. 会長スピーチ

会長 魚谷 幸司 君

皆様こんにちは。本日のゲストは県の IR 担当理事でいらっしやいます田嶋久嗣様に来て頂いております。「和歌山県 IR 事業の今後の展開について」というテーマで卓話をして頂きます。またもやネタ探しに毎日新聞を読んでおられますと「IR 来月よりパブコメ」「事業者に不安視の声も」と大きな見出しで出ておりました。賛成派、反対派大きく意見も割れることと思いますが、じっくりと田嶋様のお話を聞かせて頂きたいと思っております。後ほど宜しくお願い致します。



10月9日には米山記念奨学会委員長の清水さんが会議に出席くださいました。来週の卓話でご報告を頂くこととなっております。

ここ3週に渡り、角谷さんの話題を触れさせて頂きます。和歌山県北部が断水となってしまいましたが、無事に水の供給が再開されました。断水直後に社員様の発案ということですが、「トイレ非常用袋 抗菌凝固剤付き」という商品を2千個、和歌山市に寄贈されました。この非常時に臨機応変な素晴らしい決断をされた角谷さんに敬意を表します。

本日例会終了後、理事会を開催させて頂きまして、理事の方はよろしくお願ひ致します。

6. 幹事報告

幹事 宇恵 久視 君

○休会のお知らせ

粉河 RC 9月15日(水) 22日(水)

29日(水)

田辺 RC 9月16日(木)

7. ゲスト卓話

和歌山県 IR 担当理事 田嶋 久嗣 様

「和歌山県 IR 事業の今後の展開」

本日はお招きをいただき、ありがとうございます。県が目指す IR 事業についてご説明させていただきます。皆様のご理解とご協力をお願いします。



IR とは、「統合型リゾート」で、よくカジノを連想されますが、カジノは、その中の一部(3%)の施設です。本日は、以下の点についてお話いたします。

1. 日本型 IR (統合型リゾート) について
2. 和歌山 IR の意義・目標・コンセプト
3. IR 予定区域・和歌山マリーナシティ
4. 和歌山が目指すリゾート型 IR
5. 地域に愛される和歌山 IR の仕組み
6. 課題と対策



○カジノ施設に加え、ホテルや MICE 施設(国際会議場・展示施設)等、様々な施設が一体となった複合観光施設

○施設は民間事業者により建設・運営

○カジノ施設は IR 施設の床面積の合計の 3%以下

○3カ所を上限とし、国土交通省が区域を認定

10月は経済と地域社会の発展・米山月間です

四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002

海南市日方 1294 (海南商工会議所 4F)

TEL:073-483-0801 FAX:073-483-2266

http://www.kainaneast-rc.jp

E-mail : info@kainaneast-rc.jp

2010年に開業したシンガポールでの効果

	2009年	2010年	2011年	伸び率 (2009年⇒2011年)
観光客数	968万人	IR開業	1,317万人	136%
観光収入	126億\$ (約7,938億円)		222億\$ (約1363,986億円)	176%

※1\$ (シンガポールドル) = 約63円 (2011年平均相場)

- 外国人観光客1人当たり旅行消費額が3割増加
- 約2.2万人の雇用を創出(直接雇用)

IR整備の目標(国)

日本型 IR 整備の目標⇒ 国際競争力の高い滞在型観光の実現

- 世界中から観光客を集める
政府の観光戦略における目標(2030年)達成に貢献
- ・訪日外国人旅行者数 6,000万人
- ・訪日外国人旅行消費額 15兆円
- ・地方部での外国人延べ宿泊者数 1億3,000万人

IR整備の意義



課題への対応

- ICT産業、小型ロケット発射場等の企業誘致など、産業振興
- 国の機関や5つの大学の誘致実現
- 国内外からの観光客を増加させる観光振興
- 紀伊半島一周高速道路等、交通ネットワーク整備
今後本県が持続的に発展していくためには、既存の取り組みに加えて新たな試みが必要。

IR整備の意義

今日の日本で、これだけ大きい投資は稀有であり、成長戦略の一つとして、「IR」という新たな要素を取り入れることは、将来の和歌山に対して必要。

和歌山IRのコンセプト

○多種多様な観光資源を背景としたリゾート型 IR 「Sports & Wellness」をコンセプトに掲げ、オーシャンフロントの立地と豊富な資源を生かし、都市部では体験できない自然志向の楽しみと癒しを提供する。

文化・自然

世界的な旅行ガイドブックでも高評価を得ている世界遺産「高野山・熊野」をはじめ文化遺産や自然が豊富

アクティビティ

ダイビングやセーリング等のマリンスポーツをはじめ、サイクリングなど様々な体験型観光が可能

温泉

「にっぽんの温泉百選」に選ばれた白浜温泉や熊野本宮温泉郷など、日本有数の温泉地

食

四季を通じて楽しめる「果樹王国」日本一の生マグロの水揚げ量を誇る海の幸

和歌山IRが目指すのは

和歌山が育ててきた豊かな自然や高野・熊野の世界遺産をはじめ、日本の伝統、文化、芸術、四季折々の自然などの様々な魅力について、最先端技術と融

合させるなどして、これまでにないクオリティで発信し、世界中の観光客を惹き付ける施設。

▶地方部と世界をつなぐ**新たな観光ゲートウェイの形成**
▶関西圏のみならず、伊勢湾、紀伊半島、四国圏などに存在する観光資源をつなぎ、巡礼や食文化といったストーリー性を持つ**新たな観光街道の形成**

IR予定区域・和歌山マリーナシティ



- 関西国際空港に近接
 - ・関西国際空港から最寄りICまで車で約30分
 - ・海上ルートの活用が可能
- 京阪神に近接
 - ・大阪から約60分、京都・神戸から約90分以内と抜群のロケーション
- すぐに着工が可能
 - ・1994年に竣工した人工島で、全域整地造成済であるためすぐに着工が可能
- マリンスポーツ・マリレジャーの聖地
 - ・セーリングナショナルトレーニングセンターがあり、世界大会も開催される日本屈指のスポット
 - ・最大130ftの船が停泊可能なヨットハーバー(海上係留約220隻/陸上保管約280隻)

和歌山IRを構成する施設

① MICE施設	・リゾート型IRならではのMICEビジネスを展開するとともに、国のMICE開催件数増加に貢献し、日本の観光産業の拠点となる施設
② 魅力増進施設	・高野・熊野の世界遺産をはじめ、日本の伝統、文化、芸術等を最新の技術を用いて発信し、世界中の観光客を惹き付ける施設
③ 送客施設	・IR来訪者を県内及び全国の観光地へ送り出し、新たな観光街道の形成を促進する等、世界と国内観光地をつなぐ施設
④ 宿泊施設	・ビジネスやワーケーション目的の利用者、観光目的のファミリー、VIP等、多様な宿泊客の需要に対応可能な施設
⑤ 来訪及び滞在寄与施設	・ビジネスからレジャーまで、大人から子供まで、外国人でも日本人でも、幅広い客層が楽しめるエンターテインメント性溢れる施設

ビジネスからレジャーまで、大人から子供まで、外国人でも日本人でも、幅広い客層が楽しめる満足度の高いエンターテインメント性溢れる施設を目指します。

8. 閉会点鐘

【次回例会】

10月18日(月) 12:30～ 海南商工会議所4F

会員卓話 「クラブ米山委員長会議報告」

米山記念奨学会委員長 清水 敏光 君

世界を変える行動人